

# 取扱説明書

## モナロウ ハンドパレットトラック 1.5t 軽量タイプ

注文コード：64373979

このたびは、ハンドパレットトラック1.5t軽量タイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

### 1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。  
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

**警告** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

**注意** この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

#### ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。  
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

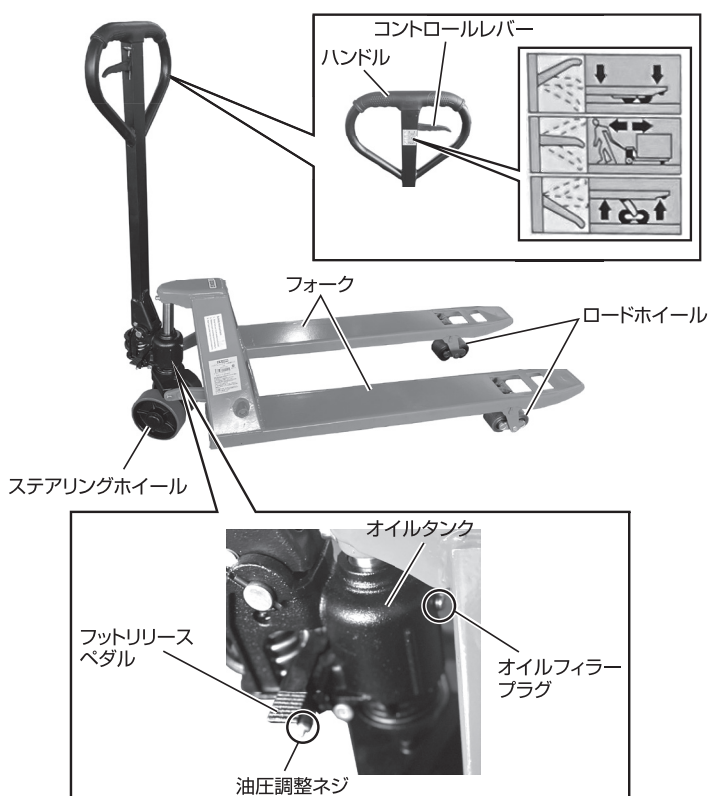
#### 警告

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 作業の安全と機械の性能を維持するために、作業前および定期的に点検を実施してください。
- 傾斜面、滑りやすい場所や不安定な場所で貨物の積みおろし、運搬、旋回はしないでください。転倒や操縦不能のおそれがあります。
- フォークを下降するときは、コントロールレバー、フットリリースペダルの操作を「ゆっくり」と行ってください。いきんに操作するとフォークが急下降し荷物、床面、機械に損傷を与える原因になります。
- フォークの上には人は乗らないでください。またフォークだけでなく積載貨物やパレットの下に障害物を置かないでください。製品、荷物が転倒しケガをするおそれがあります。
- フォークの昇降時は作業周辺の安全を確認してから操作してください。また移動時は周囲に人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様が入れない場所に保管し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

#### 注意

- 使用前に、各部に異常がないか必ず確認してください。
- 次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。  
○火気の近く ○急激な温度変化のある場所 ○水がかかる場所 ○湿度の高い場所 ○ほこりの多い場所
- 耐荷重を超えて使用しないでください。
- 作業時は手袋と安全靴を着用してください。
- フォーク長さに合ったサイズのパレット、スキッドを使用してください。
- 使用しないときは、フォークを最下降位置にしてください。
- 保証期間内でも下記の場合は、無償提供の対象外となります。  
①誤った使い方、無断改造による故障。 ②災害(地震・火災など)、公害による故障。 ③乱暴な運送による故障。

### 2 各部の名称と機能

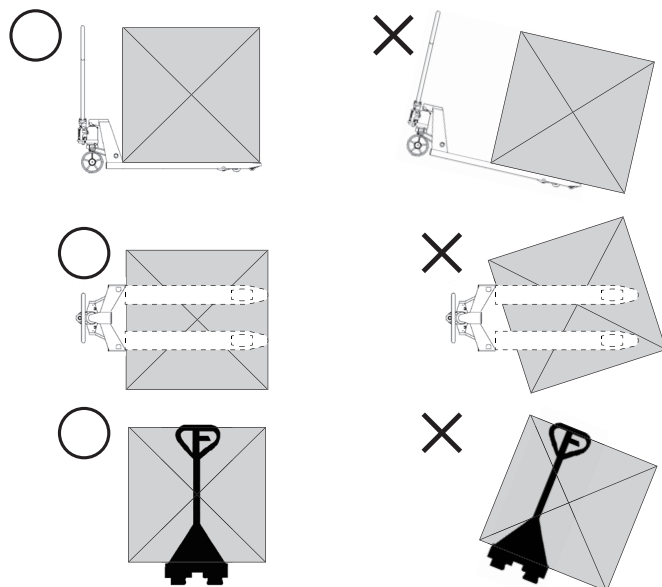


#### ■ 積載時の注意事項

##### ▼ 先端荷重、偏荷重での使用は禁止

フォークの先端部分や片側に荷重を集中させないでください。  
機械の転倒や損傷するだけでなく荷崩れによる事故のおそれがあります。

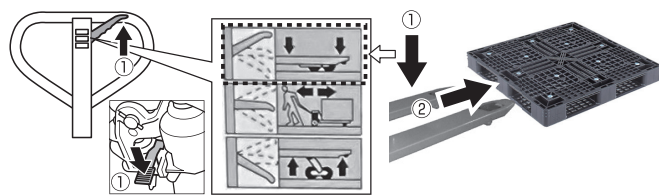
本製品の許容荷重は、フォーク全長の中心箇所の荷重です。



## 3 操作方法

### ▼ フォークの挿入

- 1 コントロールレバーを上側の位置まで引き上げた状態、またはフットリリースペダルを踏み込んだ状態で、フォークを最低高さ位置にします。
- 2 パレット、スキッドなどにフォークを挿入します。

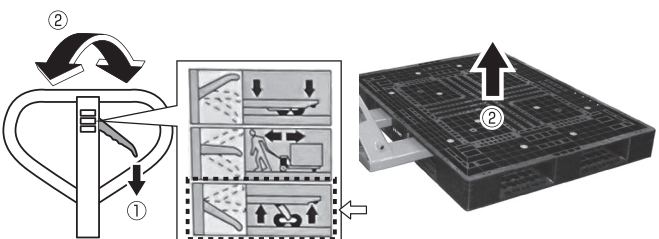


### ▼ フォークの上昇

- 1 コントロールレバーを下側の位置まで引き下げます。
- 2 ハンドルを上下に操作してパレット、スキッドなどが地面、床から浮くまでフォークを上昇させます。

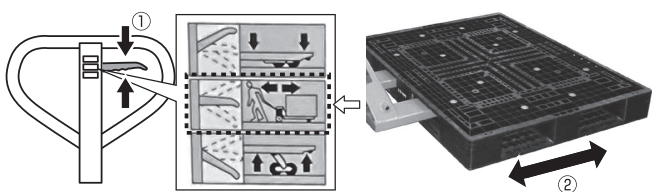
### ⚠ 注意

- 最大荷重を超える荷物を上昇させると、油圧リリースバルブが作動しフォークは上昇しません。



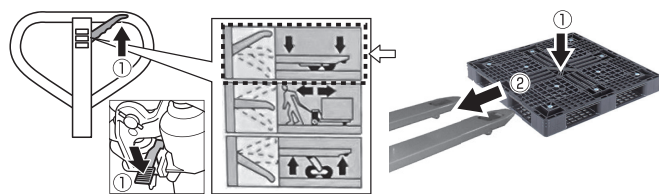
### ▼ 移動（運搬）

- 1 コントロールレバーを中間の位置にしてフォークの高さを固定します。
- 2 ハンドルを持ち、押し引きして移動（運搬）させます。



### ▼ フォークの下降

- 1 移動（運搬）が終わればコントロールレバーを上側の位置まで引き上げた状態、またはフットリリースペダルを踏み込んだ状態で、フォークをゆっくりと下降させます。
- 2 パレット、スキッドなどが地面、床に着地したらフォークを抜去します。



## 4 点検と修理

安全な作業を行うため、そして本製品の性能を維持するために、作業開始前の点検および定期点検を必ず行ってください。

点検内容…油漏れはないか、ボルトやナットの緩みはないか  
車軸、回転部の異常な摩耗はないか

### ■ 給油

半年毎にオイルの点検を必ず行ってください。オイル量は約0.25リットルです。フォークを下げた状態で、タンク上部から55mmのところまで補充してください。気温により適切なオイルを使用してください。なお、オイル補充および交換を行う場合は、オイルフィルタープラグを取り外して行ってください。

オイルフィルタープラグ



### ⚠ 注意

- ブレーキオイルは絶対に使用しないでください。

| 温度        | 推奨オイル   |
|-----------|---------|
| -5℃から+40℃ | ISOVG32 |

### ■ 余分エアの除去

エアが油圧ラインに混入してしまうことがあります。エアが入ってしまうと、コントロールレバーを下側にした状態でハンドルを上下させても、フォークが上昇しません。コントロールレバーを上側に設定し、ハンドルを数回上下させるとエアが抜けます。

### ■ 日常点検と保管

本製品の消耗を最小限に抑え、長く使うために必ず毎日点検してください。特にホイール、ハンドルとフォークの上下位置には注意してください。作業終了後はフォークを最低高さ位置まで降ろし、荷物は載せずに保管してください。

## 5 故障と対処

| 故障症状             | 故障原因                                                            | 対処                                                       |
|------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| フォークが最高高さまで上昇しない | ● オイル不足。                                                        | ● オイル補充。                                                 |
| フォークが上昇しない       | ● オイル不足。<br>● オイルに異物が混入。<br>● 油圧バルブの調整不良。<br>● 油圧ポンプにエアが混入。     | ● オイル補充。オイル交換。<br>● 油圧バルブを調整。<br>(下記6参照)<br>● エア抜き。      |
| フォークが下降しない       | ● フォークが長時間上昇位置に置かれたため錆が発生。<br>● 油圧バルブの調整不良。                     | ● フォーク部の錆落とし。<br>● 油圧バルブを調整。<br>(下記6参照)<br>● エア抜き。       |
| フォークが自然に下降する     | ● オイルに異物が混入したためリリースバルブが閉じ不良。<br>● オイルにエアが混入。<br>● 油圧調整バルブの調整不良。 | ● オイル交換。<br>● エア抜き。<br>● 油圧バルブを調整。<br>(下記6参照)<br>● エア抜き。 |

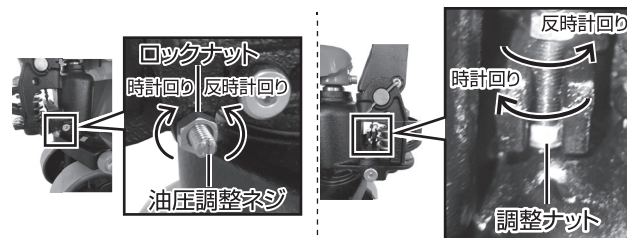
## 6 フォークが上昇/下降しない場合

### ■ フォークが上昇しない場合

- (1) ロックナットを緩め、油圧調整ネジを反時計回りに回して調整してください。調整後、ロックナットを締めてください。
- (2) 上記(1)で解決しない場合、調整ナットを反時計回りに回して調節してください。

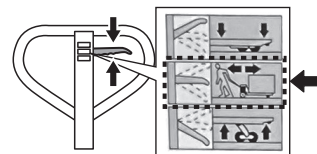
### ■ フォークが下降しない場合

- (1) ロックナットを緩め、油圧調整ネジを時計回りに回して調整してください。調整後、ロックナットを締めてください。
- (2) 上記(1)で解決しない場合、調整ナットを時計回りに回して調節してください。



## 7 その他

コントロールレバーを中間の位置にしている状態でポンピングを行うとフォークが動く場合



### ■ フォークが上昇する場合

調整ナットを時計回りに回して、フォークが上昇ないように調整してください。

### ■ フォークが下降する場合

調整ナットを反時計回りに回して、フォークが下降ないように調整してください。

